



## 組入上位銘柄のご紹介

平素より「グローバルESG株式インデックスファンド（愛称：ESGインサイト）」をご愛顧いただきありがとうございます。当資料では、2022年9月30日現在の組入上位銘柄についてご紹介します。

### 組入上位10銘柄

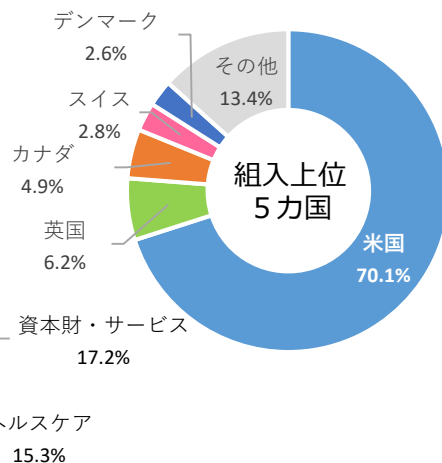
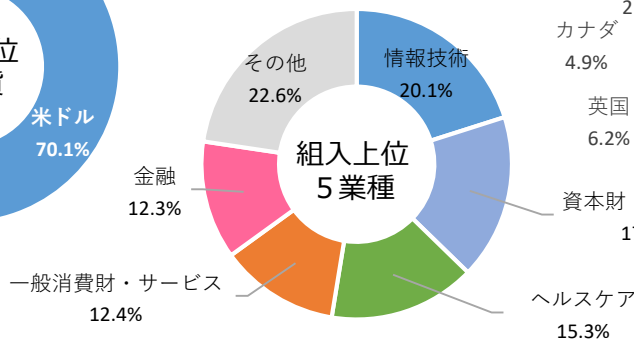
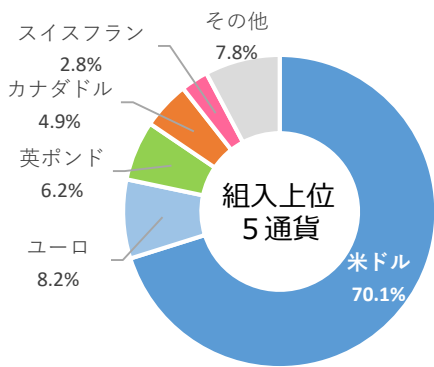
	銘柄	国・地域	業種	比率 (%)
1	マイクロソフト	米国	情報技術	5.0
2	テスラ	米国	一般消費財・サービス	3.8
3	ユナイテッドヘルス・グループ	米国	ヘルスケア	3.0
4	エンフェーズ・エナジー	米国	情報技術	2.9
5	ウエスト・マネジメント	米国	資本財・サービス	2.5
6	エヌビディア	米国	情報技術	2.5
7	ネスレ	スイス	生活必需品	1.8
8	アマゾン・エレクトリック	米国	資本財・サービス	1.8
9	ベライゾン・コミュニケーションズ	米国	コミュニケーション・サービス	1.4
10	ペプシコ	米国	生活必需品	1.4

※2022年9月30日現在

※上記比率は当ファンドの主要投資対象ファンド「インベスコ グローバルESGインサイト・インデックス・ファンド（適格機関投資家限定）」が投資するマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

※業種は、GICS（世界産業分類基準）に準じています。

### 【ご参考】組入状況について



※2022年9月30日現在

※上記比率は当ファンドの主要投資対象ファンド「インベスコ グローバルESGインサイト・インデックス・ファンド（適格機関投資家限定）」が投資するマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

※業種は、GICSに準じています。※四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

※上記の組入状況は、ちばぎんアセットマネジメントがインベスコ・アセット・マネジメントからの情報提供に基づき作成していますが、掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

上記は2022年9月30日時点の当ファンドの主要投資対象ファンド「インベスコ グローバルESGインサイト・インデックス・ファンド（適格機関投資家限定）」が投資するマザーファンドにおける組入状況について、ちばぎんアセットマネジメントがまとめたものです。記載されている個別の銘柄・企業名について、その銘柄または企業の株式等の売買を推奨するものではなく、また、当ファンドへの組み入れを示唆・保証するものではありません。上記は過去の運用情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「グローバルESG株式インデックスファンド（愛称：ESGインサイト）」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。■当資料のお取扱いについては最終ページの「本資料のお取扱いにおけるご留意点」をご覧ください。



### ESGとは

ESGとは、Environment(環境)、Social(社会)、Governance(ガバナンス)の頭文字からなるこれら3つの要素の総称です。ESG投資とは、企業の「環境」、「社会」、「ガバナンス」への取り組みを投資判断の際に考慮するものです。

#### **E**nvironment (環境)

気候変動、水枯渇  
海洋プラスチック、  
クリーンエネルギー  
など



#### **S**ocial (社会)

ダイバーシティ、  
児童労働、  
経済格差、人権問題  
など



#### **G**overnance (ガバナンス・企業統治)

企業統治の強化、  
社外取締役の割合、  
リスクの管理体制の整備  
など



上記はイメージ写真です。

### 個別銘柄のご紹介

組入順位1位



マイクロソフト

情報技術

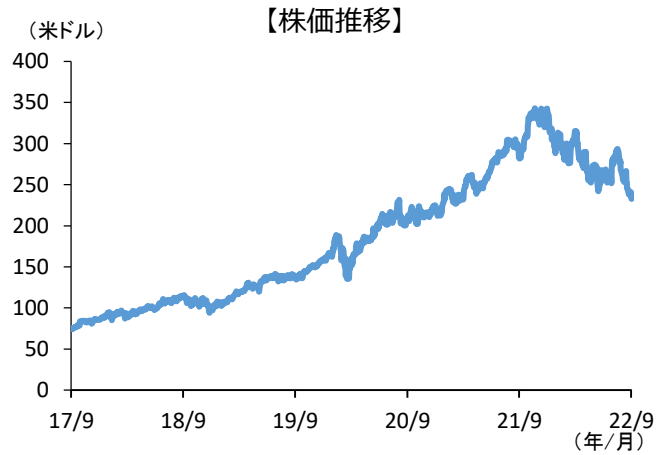
ソフトウェア・ITサービス提供会社

#### 顧客のESG課題をクラウドサービスで解決

企業が直接管理することが難しいとされるスコープ3排出量\*を追跡する機能などを備えたクラウドサービスの提供により、デジタルの力で企業のサステナビリティへの取り組みをサポートしています。

#### データセンターの運用における水使用量を削減

IT企業ではデータセンターのサーバーを冷やすために膨大な水を使用すると言われています。同社はその水使用量を2024年までに95%削減することを掲げています。また、2030年までに事業で消費する量を上回るきれいな水を供給するという、ウォーターポジティブの達成を掲げています。



※業種は、GICSに準じています。

期間：2017年9月29日～2022年9月30日（日次）

出所：ブルームバーグおよび各種資料をもとにちばぎんアセットマネジメント作成

\*スコープ3：事業者自らの排出でなく、自社の事業活動に関連する事業者や、製品の使用者が間接的に排出する一連の温室効果ガス

上記は2022年9月30日時点の当ファンドの主要投資対象ファンド「インベスコ グローバルESGインサイト・インデックス・ファンド（適格機関投資家限定）」が投資するマザーファンドにおける組入上位銘柄について、ちばぎんアセットマネジメントがまとめたものです。記載されている個別の銘柄・企業名について、その銘柄または企業の株式等の売買を推奨するものではなく、また、当ファンドへの組み入れを示唆・保証するものではありません。上記は過去の運用情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「グローバルESG株式インデックスファンド（愛称：ESGインサイト）」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。■当資料のお取扱いについては最終ページの「本資料のお取扱いにおけるご留意点」をご覧ください。



組入順位 2位



テスラ

一般消費財・サービス

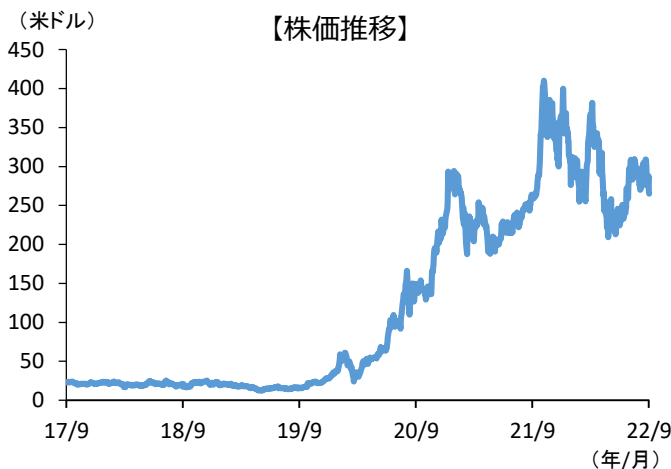
世界最大の電気自動車 (EV) メーカー

**EV普及が脱炭素化を後押し**

EVの製造量を増やし、製品を入手しやすくすることで、2030年までにEVを年間2,000万台（2021年は94万台）販売するとともに、年間1,500GWhの蓄電池（2021年は4GWh）を設置することを目指しています。達成すれば、年間数千万トンものCO<sub>2</sub>排出を削減できるとしています。

**エネルギー事業も展開**

EVの生産台数では世界最大を誇る同社ですが、“持続可能なエネルギーへ世界のシフトを加速する”というミッションを掲げ、太陽光発電などにも注力しています。2012年から2021年までの同社の太陽光発電システムの発電量は、同期間のテスラの車両および工場で消費された電力を上回りました。



※業種は、GICSに準じています。  
期間：2017年9月29日～2022年9月30日（日次）  
出所：ブルームバーグおよび各種資料をもとにちばぎんアセットマネジメント作成

組入順位 3位



ユナイテッドヘルス・グループ

ヘルスケア

米国医療保険の最大手企業

**医療サービスにアクセスしにくい地域をサポート**

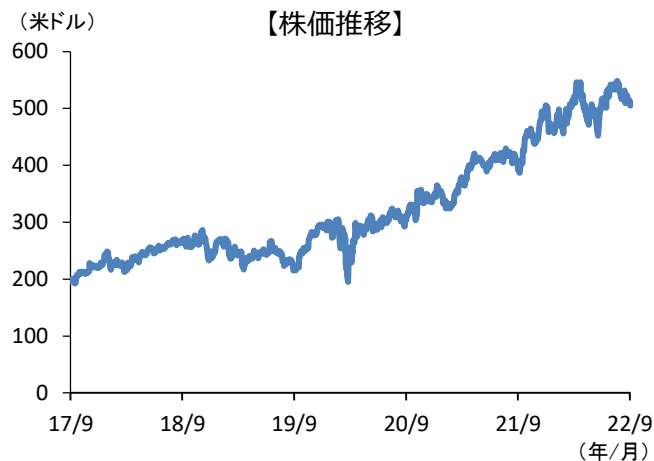
小売世界大手の米ウォルマートとの提携により、同社の店舗網を活用して、医療サービスにアクセスしにくい地域をサポートする取り組みを進めています。これにより、65歳以上に予防医療を、全年齢層にオンラインなどの仮想医療サービスを提供する予定です。

**人種・民族的に多様な医療従事者を育成**

同社の慈善財団であるユナイテッド・ヘルス財団は、健康の公平性を高め、人種・民族的に多様な医療従事者の育成を支援するため、1億米ドルの拠出を発表しました。



上記はイメージ写真です。



※業種は、GICSに準じています。  
期間：2017年9月29日～2022年9月30日（日次）  
出所：ブルームバーグおよび各種資料をもとにちばぎんアセットマネジメント作成

上記は2022年9月30日時点の当ファンドの主要投資対象ファンド「インベスコ グローバルESGインサイト・インデックス・ファンド（適格機関投資家限定）」が投資するマザーファンドにおける組入上位銘柄について、ちばぎんアセットマネジメントがまとめたものです。記載されている個別の銘柄・企業名について、その銘柄または企業の株式等の売買を推奨するものではなく、また、当ファンドへの組み入れを示唆・保証するものではありません。上記は過去の運用情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「グローバルESG株式インデックスファンド（愛称：ESGインサイト）」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。■当資料のお取扱いについては最終ページの「本資料のお取扱いにおけるご留意点」をご覧ください。



### ファンドの特色

1. 主要投資対象ファンドへの投資を通じて、先進国(除く日本、韓国)の株式に投資します。
  2. 「インベスコ・グローバルESGインサイト(除く日本、韓国)インデックス(円換算ベース)」に連動する投資成果をめざします。
- ※ ファンドは、ベンチマークと連動する投資成果を目指して運用を行いますが、基準価額とベンチマークの動きは乖離する場合があります。
- ※ 主要投資対象ファンドの純資産総額が少額の場合、ESG関連銘柄に投資するETF(上場投資信託証券)に投資することがあります。ETFとは、S&P500種指数などといった特定の指数の動きに連動する運用成果をめざし、ニューヨーク証券取引所などの金融商品取引所に上場している投資信託です。
- ※ 市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行えない場合があります。

### 投資リスク

#### 《基準価額の変動要因》

- ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。  
したがって、**投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。**
- **信託財産に生じた利益および損失は、全て投資者の皆様に帰属します。**
- **投資信託は預貯金とは異なります。**

#### 【株価変動リスク】

株価は、発行者の業績、経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢等により変動します。株価が下落した場合は、基準価額の下落要因となります。

#### 【為替変動リスク】

為替相場は、各国の経済状況、政治情勢等の様々な要因により変動します。投資先の通貨に対して円高となった場合には、基準価額の下落要因となります。

#### 【信用リスク】

有価証券等の発行体等が財政難、経営不振、その他の理由により、利払い、償還金、借入金等をあらかじめ決められた条件で支払うことができなくなった場合、またはそれが予想される場合には、有価証券等の価格は下落し、基準価額の下落要因となる可能性があります。

#### 【流動性リスク】

時価総額が小さい、取引量が少ない等流動性が低い市場、あるいは取引規制等の理由から流動性が低下している市場で有価証券等を売買する場合、市場の実勢と大きく乖離した水準で取引されることがあり、その結果、基準価額の下落要因となる可能性があります。

#### 【カントリーリスク】

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化、外国為替規制、資本規制、税制の変更等の事態が生じた場合、またはそれが予想される場合には、方針に沿った運用が困難になり、基準価額の下落要因となる可能性があります。

※ 基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

#### 《その他の留意点》

- ファンドはベンチマークの動きに連動する投資成果を目指して運用を行いますが、主として、ファンドとベンチマークの組入資産の銘柄、売買タイミング、時価評価および比率の差異並びに信託報酬、取引費用、為替、ETFとベンチマークの動きの不一致等の要因があるため、ファンドとベンチマークの騰落率は完全に一致するものではなく、乖離する場合があります。ベンチマークの算出・取得ができない事態が生じた場合、委託会社はベンチマークの変更や廃止を含む運用方針の見直しを行うことまたはファンドを償還することがあります。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。
- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。

■当資料は、投資者の皆様に「グローバルESG株式インデックスファンド(愛称：ESGインサイト)」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。■当資料のお取扱いについては最終ページの「本資料のお取扱いにおけるご留意点」をご覧ください。



お申込みメモ

- 購入単位・・・販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 購入価額・・・購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。  
(基準価額は1万口当たりで表示しています。)
- 換金単位・・・販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 換金価額・・・換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
- 換金代金・・・原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
- 申込締切時間・・・原則として、販売会社の営業日の午後3時までとします。
- 換金制限・・・ファンドの規模および商品性格などにに基づき、運用上の支障をきたさないようにするため、大口の換金には受付時間および金額の制限を行う場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 購入・換金・・・申込日当日および申込日の翌営業日が次のいずれかの場合は、購入・換金のお申込みを受け付けません。  
申込受付不可日  
・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・ロンドン証券取引所の休業日 ・ニューヨークの銀行休業日
- 購入・換金申込受付の中止および取消し・・・金融商品取引所等における取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、委託会社は購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの取り消しを行うことがあります。
- 信託期間・・・無期限(2021年7月13日設定)
- 繰上償還・・・主要投資対象ファンドが償還される場合には、信託契約を解約し、信託を終了(繰上償還)させます。  
次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了(繰上償還)させることができます。  
・受益権の口数が30億口を下回った場合  
・ファンドを償還することが受益者のために有利であると認める場合  
・やむを得ない事情が発生した場合
- 決算日・・・毎年4月20日(休業日の場合は翌営業日)
- 収益分配・・・年1回、毎決算時に分配の方針に基づき分配します。  
「分配金受取りコース」と「分配金再投資コース」の2つの申込方法があります。  
詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 課税関係・・・課税上は株式投資信託として取り扱われます。  
公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度および未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。  
なお、配当控除あるいは益金不算入制度の適用はありません。

ファンドの費用

《投資者が直接的に負担する費用》

■ 購入時手数料

購入申込受付日の翌営業日の基準価額に**3.3%(税抜3.0%)**を上限として販売会社が定める率を乗じて得た額とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

■ 信託財産留保額

**ありません。**

《投資者が信託財産で間接的に負担する費用》

■ 運用管理費用(信託報酬)

純資産総額に対して、**年率0.8635%(税抜0.785%)**を乗じて得た額とします。

■ 投資対象とする投資信託証券

純資産総額に対して、年率0.4235%程度(税抜0.385%程度)

■ 実質的な負担

純資産総額に対して、**年率1.287%程度(税抜1.17%程度)**

※ この値は目安であり、投資対象とする投資信託証券の実際の組入状況により変動します。

■ その他の費用・手数料

有価証券等の売買・保管、信託事務にかかる諸費用、投資対象ファンドの解約に伴う信託財産留保額等はその都度、監査費用は日々、ファンドが負担します。これらの費用は、運用状況等により変動する等の理由により、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

※ 詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「お申込みメモ」、「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

■当資料は、投資者の皆様にご覧いただく「グローバルESG株式インデックスファンド(愛称：ESGインサイト)」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。■当資料のお取扱いについては最終ページの「本資料のお取扱いにおけるご留意点」をご覧ください。



委託会社・その他の関係法人の概要

- 委託会社 ちばぎんアセットマネジメント株式会社(ファンドの運用の指図を行う者)  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第443号  
 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会  
 ホームページ：<http://www.chibagin-am.co.jp/>  
 サポートダイヤル：03-5638-1451 受付時間 9:00~17:00 [土日・祝日等は除く]
- 受託会社 三井住友信託銀行株式会社(ファンドの財産の保管および管理を行う者)

販売会社

商号等	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社千葉銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第39号	○		○
株式会社横浜銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第36号	○		○
株式会社武蔵野銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第38号	○		

- ・ お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、販売会社へお申し出ください。
- ・ 販売会社は今後変更となる場合があります。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>

- 当資料はちばぎんアセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により運用方針等が変更される場合があります。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数開発元もしくは公表元に帰属します。

■当資料は、投資者の皆様へ「グローバルESG株式インデックスファンド(愛称：ESGインサイト)」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。■当資料のお取扱いについては最終ページの<本資料のお取扱いにおけるご留意点>をご覧ください。